

2013年度 活動計画のご紹介

研究大会



イベント学研究会



交流イベント



交流活動



大学等支援



2013年度総会 特集

CONTENTS

2013年度総会報告	2
会計報告	
2013年度活動計画のご紹介	
研究大会「イベントサロン東京」の要領	
研究大会「イベントサロン大阪」の概要	
研究助成 大学等支援 イベント学研究会 交流イベント	
2013年度イベント学会役員	
事務局からのお知らせ	8



2013年度 総会報告



イベント学会では6月18日(火)、千代田区麹町の弘済会館にて2013年度の理事会および総会を実施し、2013年度の活動計画を正式決定いたしました。

2013 年度総会議案

第1号議案 2012年度活動報告(案)および決算書(案)承認

第2号議案 2013年度活動計画(案)および予算書(案)承認

【報告】 役員人事および事務局体制について

委任状を含む131名の出席により行われた総会にて、2012年の活動報告および決算書、2013年度の活動計画および予算書が承認を受けて正式決定いたしました。

議案の決議後、事務局より(株)電通の会員代表者を森隆一特別顧問から平野透執行役員への変更依頼を受け、平野透執行役員に法人会員理事に就任いただき、森隆一さんは個人会員理事として引き続き副理事長をお願いすることを報告。

また、事務局人事として石川毅事務局次長が電通に戻り、7月1日付けで(株)電通から菊地浩之事務局次長が就任することを報告いたしました。

* * *

堺屋会長より理事会の報告を兼ねて挨拶がありました。その中で会員に向けて「国際博覧会の輸出」構想の提案がありました(3ページに骨子文掲載)。また理事会にて提案が上がった「法人化」や「繰越金の基金化」などの意見が提案され、事務局にて検討をすることにしました。



堺屋会長より「イベント学会全体で取り組みたい」と「国際博覧会の輸出」構想が提案された。右は成田純治理事長。



理事会では堺屋会長をはじめ出席の理事からの提案など活発な意見交換が行われた。



総会には個人会員や法人会員の代表者が多数参加した。



閉会後は堺屋会長と談笑しながら大勢の会員とのコミュニケーションの場となった。



■■■ 堺屋会長より提案された「国際博覧会の輸出」の骨子 ■■■

イベント学会総会の開催に当り、会長としてご挨拶申し上げます。

世界は今や知恵の時代、日本は今や規格大量生産型の工業国を越え、知恵と美意識の時代にならねばなりません。

日本万国博から40年余、ディズニーランドの開園から30年、日本には分厚いイベント開催のノウハウが蓄積されています。2010年の上海万国博の開催に当っても、26年間に亘る日本人の協力が役立ちました。

これからは、日本がハードの製品や工場、単品のインフラなどの輸出や建設運営協力のみならず、イベントを契機とした複合的開発に協力し、知恵を貸すべきです。

アジアのどこか、例えばベトナムの大都市において国際博覧会を開催することを提案、そのノウハウを提供する。

国際博覧会の開催には、会場の整備建設だけでなく、開催都市の交通管理や水質、衛生、食料の供給、ホテル観光の宣伝、治安の維持まで都市運営の全てが整わねばなりません。

日本万国博覧会をはじめ多くのイベント開催の経験を持つ日本は、それらをセットで指導協力できるノウハウがあります。また、沖縄海洋博での経験は、イベントを観光開発に繋いだ好例といえるでしょう。

これらを含めて本学会でも特定の一国を選んで、大規模イベントの開催を呼掛け、日本の各種業界を動員するシステムを作れば、日本がアジアのイベント先進国のアドバンテージを発揮できるのは、決して夢物語ではありません。

イベント学会は、夢を拡げる場であるべきでしょう。

会計報告

2012年決算案および2013年予算案が、下記のとおり承認されました。
詳細につきましてはイベント学会Webの「2013年度総会議案書」をご覧ください。

科目		12年度決算	13年度予算
収入の部	会費収入 計	8,514,000	8,524,000
	事業収入 計	1,516,208	1,000,000
	当期収入 計 (A)	10,030,208	9,524,000
	前期繰越収支差額	1,628,311	1,883,671
	収入合計 (B)	11,658,519	11,407,671
支出の部	事業費 計	4,482,317	5,400,000
	管理費 計	5,292,531	4,124,000
	当期支出 計 (C)	9,774,848	9,524,000
当期収支差額 (A - C)		255,360	0
次期繰越収支差額 (B - C)		1,883,671	1,883,671

(単位：円)

2013年度活動計画のご紹介

総会の審議を経て2013年度の活動計画が決まりました。詳しい内容や開催日時につきましては、決定次第メールニュースおよびイベント学会Webにてご案内いたします。
会員の皆様の各種活動へのご参加をお待ちしております。

研究大会 2013年

「イベントサロン東京」(イベント学会第16回研究大会)

復興計画を実現するために、イベントが果たす役割は大きい。今回の研究大会では「イベントルネッサンス」をテーマに、国際イベントやスポーツなどを通じて復興に寄与する具体的なイベントの手法やプランを提言します。

初日は「基調講演」「シンポジウム」「展示ブース」による提言を、一般公開にて行います。2日目は「口頭発表」「ポスター発表」を通じて、会員による様々な研究発表を計画しています。

テーマ：「イベントルネッサンス」

会期：2013年11月15日(金)・16日(土)

会場：順天堂大学 本郷キャンパス 7号館(有山記念講堂)およびセンチュリータワー

共催：順天堂大学、JACE、その他学術団体、教育機関、官公庁、地方自治体を予定

後援：東京都、媒体社、商工会議所、企業などを予定

申込方法

9月上旬にイベント学会Web内に研究大会専用ページを開設いたします。詳細につきましては、後日イベント学会Webおよびメールニュースにてお知らせいたします。

申込締切

・口頭発表、ポスター発表、展示ブース出展へのエントリー締切は9月中旬を予定

・大会参加申込は10月下旬を予定

詳細につきましては決定次第イベント学会Webおよびメールニュースにてお知らせいたします。

参加費

・研究発表エントリー費 個人・法人・自治体会員 5,000円(1人)

準会員(学生・院生) 2,000円(1人)

・交流パーティ参加費(任意) 5,000円(1人)

※学生は別途料金となります。

お問い合わせ先

イベント学会事務局

〒102-0082 東京都千代田区一番町13-7 一番町KGビル3階

電話：03-5215-1680 FAX：03-3238-7834 e-mail：info_info@eventology.org

研究大会 2014年

「イベントサロン大阪」(イベント学会第17回研究大会)

2015年に「大阪城まちづくり400年祭」「道頓堀開削400周年」「水都大阪開催」「動物園開園100周年」などを迎える大阪で、その前年に当たる2014年に様々なイベントの手法、プランの提言を計画。

テーマ(案)：「イベントと観光立国 歴史・都市・フェスティバル」

会期(予定)：2014年9月の2日間

会場(予定)：大阪府立大学 i-siteなんば(南海電鉄本社ビル2～3階)

共催(予定)：大阪府立大学、JACE、その他学術団体、教育機関、官公庁、地方自治体

後援(予定)：大阪府、大阪市、大阪商工会議所、堺商工会議所、媒体社、企業など

※開催概要の詳細については計画中。2014年6月頃発表予定。

研究助成

2013年度の助成対象研究が決定いたしました。下記の3題に対して助成金を支給いたします。

地方公共団体が主宰する 「手創り」イベントの安全対策に関する研究	貝辻正利 (神戸大学大学院工学研究科研究員)
モノ作りイベントがもたらす 地域コミュニティへの影響	鈴木純子 (一般社団法人日本リ・ファッション協会 代表理事)
MICE開催都市の国際力向上に向けた 国際標準規格の活用	越川延明 (一般社団法人日本イベント産業振興協会 主任研究員)

【2014年度研究助成について】

2014年度の研究助成は2014年4月1日から5月31日の期間に募集いたします。

審査発表は6月中旬、2015年3月下旬に研究成果の報告を予定しています。

大学等支援

大学等教育機関が行うイベント学講座などを後援。会員を講師として紹介しイベント学科創設に向けた支援活動を行います。

● 上智大学公開講座を後援

6月実施した上智大学公開講座への後援と講師紹介を行いました。



イベント学研究会

イベント学の研究推進と会員の交流を目的に、テーマに基づいた各種研究会を実施しています。研究会の開催日程や詳細につきましては、メールニュース、学会Webにて随時お知らせします。

● イベントビジネス研究会 (座長:岩崎 博) **NEW**

いまや社会の活動基盤となっているイベントをめぐり、特にその多様なビジネス活動に焦点をあて、多くの関係者を集め、交流を促し、ビジネス活動として開催されるイベント、イベントを生み出し支える多様なビジネスの一層の発展を図る研究会をスタートします。

月例フォーラムを開催し、フォーラム内容をインターネット上への公開や電子書籍化を進めるなど、イベント学会の活動を広く社会にアピールする活動も推進していく予定です。

● リスクマネジメント研究会 (座長:宮地克昌) **NEW**

イベントに関する事件や事故、トラブルなどの発生を抑制する為の手法を研究し、情報共有と同時に広く社会に提言していく必要があります。多角的に情報や意見を集め、具体的な活動に結び付ける研究会です。

● まち歩きイベント研究会 (座長:小林 政則)

本年度は「あるくサロン in 谷・根・千」として、谷中・根津・千駄木エリアを対象に、まち歩きイベントの可能性について研究していきます。

この研究会をきっかけに、会員のみなさんの得意なエリアを研究していただきます様、企画提案をお願いします。

交流イベント

■ 金曜サロン(キンサロ)

イベントに携わる様々な分野の皆様と、それに関心をお持ちの学生の皆様などの情報交流の場として定期的に開催しているイベントです。このサロンを通して、新しい人的ネットワークが形成され、参加者の皆様の生活とビジネスがより充実されることを願って開催しております。



【第1部】プレゼンテーション

様々なジャンルをテーマに研究発表や企業プレゼン、事例紹介の場としてお手軽にご利用いただいております。プレゼンをご希望の方はイベント学会事務局までご連絡ください。

【第2部】交流パーティ

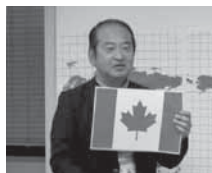
プレゼンターと参加者との交流を深め、ビール、ワイン、スナックと共に異世代、異文化、異業種の間人ネットワークを創出するパーティです。



開催日時：毎月最終金曜日 18:30～21:00 (年10回程度)

場所：イベント学会事務局または地方都市会場

会費：1,000円



■ イベントサロン

東京での開催の他、会員のネットワーク化と広がりを図るために大阪や仙台など各地での交流サロンを実施しています。

※イベント学研究会、交流イベントの開催日程につきましては、メールニュース、学会Webにて随時お知らせします。

● 2013年度イベント学会役員 ●●●

(2013年7月現在)

役 職	氏 名	会員種類	所 属
会 長	堺屋 太一	個人会員	(株)堺屋太一研究所 代表取締役
理事長	成田 純治	法人会員	(株)博報堂 代表取締役会長
副会長	川本 直彦	個人会員	法政大学SSI 講師
副会長	北本 正孟	個人会員	(株)カントリー 代表取締役
副会長	野川 春夫	個人会員	順天堂大学 教授
副会長	橋爪 紳也	個人会員	大阪府立大学 特別教授
副会長	望月 照彦	個人会員	多摩大学大学院 教授
副理事長	川村 治	法人会員	(株)テー・オー・ダブリュー 代表取締役会長
副理事長	広岡 正明	法人会員	TSP太陽(株) 代表取締役社長
副理事長	森 隆一	個人会員	(財)電通育英会 理事長
副理事長	渡辺 勝	法人会員	(株)乃村工藝社 代表取締役社長
理 事	浅葉 克己	個人会員	(株)浅葉克己デザイン室
理 事	井関 利明	個人会員	慶応義塾大学 名誉教授
理 事	岩崎 博	個人会員	エスシー・プランニング・オフィス 代表
理 事	梶原 貞幸	個人会員	エス・エフメーカーズ(株) 取締役プロデューサー
理 事	加藤 淑子	個人会員	(株)エンコーポレーション 代表取締役
理 事	小林 政則	個人会員	イベント支援ネットワーク
理 事	間藤 芳樹	個人会員	羽衣国際大学 客員教授
理 事	マリ クリスティーヌ	個人会員	エムキューブインターナショナル
理 事	光井 勇人	個人会員	(株)エイジ・エンタテインメント 代表取締役社長
理 事	宮木 宗治	個人会員	東洋大学国際地域学部 非常勤講師
理 事	宮地 克昌	個人会員	東京観光専門学校
理 事	宮本 倫明	個人会員	ランダアソシエイツ 代表
理 事	師岡 文男	個人会員	上智大学 教授
理 事	長沼 孝一郎	法人会員	(株)アサツーディ・ケイ 取締役 取締役会議長
理 事	谷 喜久郎	法人会員	(株)新東通信 代表取締役会長
理 事	渡辺 亮	法人会員	(株)丹青社 会長
理 事	平野 透	法人会員	(株)電通 執行役員
理 事	桑原 常泰	法人会員	(株)東急エージェンシー 代表取締役社長
理 事	太田 正治	法人会員	(社)日本イベント産業振興協会 専務理事
監 事	園田 榮治	個人会員	(株)インタープラン 取締役会長
監 事	原田 周平	個人会員	日本経済新聞社 社友

個人理事10名、法人理事10名、会長・理事長推薦理事10名、監事2名 計32名

着任のご挨拶

事務局次長 菊地 浩之



7月1日、事務局次長として着任した菊地と申します。出向元では、セールス・プロモーション、営業、出版、人事等の部門を経て、6月末まではイベント・スペース部門に所属しておりました。ご賢察のとおり、私はイベント・ビジネスのプロフェッショナルとは申せませんし、事務局歴代の諸先輩方とは少なからず異なったキャリアを歩んできたこととなります。いっぽう、イベントとの係わりの原点は、中学時代の体験まで遡ります。甲子園の叔父の家に寝泊りして通った大阪万博は、ものごころがついて最初に体験した一大イベントでした。1970年、大阪の7月末は猛暑続きだったはずですが、

ほとんど熱中症になりながら行列に並ぶパビリオンは見たことのないもので溢れていて、焼けつく砂漠の先にあるオアシスのようでもありました。結局、サルのように3日間通いつめて飽くことがありませんでした。東京で待つありきたりの日常に戻るのが嫌だったのでしょうか。初めてイベントを実体験した強烈な記憶です。

こういう人間が事務局運営に携わらせていただくこととなりますが、「イベントの第一線で活躍なさっている個人会員、法人会員の皆様にどうやったら貢献できるか?」を常に念頭におきながらやっております。当初、ご迷惑をおかけすることもあるでしょうし、異なった視点からご提案できることもあるかもしれません。イベント学会が推進する諸事業の円滑な運営を目指してまいりますので、よろしくご指導のほどお願い申し上げます。

フォトギャラリー イベント学会 Web および Facebook ページに研究大会や交流イベント等の写真をご紹介します。



イベント学会 Web <http://www.eventology.org/>

●フォトギャラリーへのログインにはユーザー名とパスワードが必要ですので、ご希望の方はイベント学会事務局にご連絡ください。Facebook ページはイベント学会 Web トップページよりご覧いただけます。

イベント学会入会手続き

1. 入会ご希望の方は、申込書(会員種類別)にご記入の上イベント学会事務局あてにご郵送ください。申込書は学会Webからダウンロードするか事務局へご請求ください。
2. 申込者については理事会等で審議し、入会を承認された方には入会承認書と振込み案内をお送りしますので、入会金(初年度のみ・準会員は不要)と年会費を指定の口座にお振込みください。
3. これ以降、会報『イベントロジー』やメールニュース、研究報告書、研究大会、イベントなどのご案内をお届けします。

イベント学会会費一覧(2013年4月~2014年3月)

会員種類	入会金	年会費	備考
1) 個人会員	5,000	10,000	個人
2) 準会員	なし	2,000	大学生、大学院生、専門学校生など
3) 自治体会員	20,000	50,000	地方自治体
4) 法人会員	(1口)100,000	(1口)100,000	企業、団体などの法人

※法人会員は1口以上

(単位:円)